

学びの杜通信

第31号 平成29年3月21日発行



研修報告 **育てます**

①第7期「とちぎの教育未来塾」が終了しました

「とちぎの教育未来塾」は、今年度から臨時採用教員の貴重な研修の場として位置付け、より実践的な研修となるよう内容を充実させました。228名（うち現職教員137名）の受講者からは、「子ども、保護者、地域から信頼され、必要とされる教師を目指して、未来塾で学んだことを実践したいと思います。」「未来塾を通して、子どもを様々な視点で見ることや現場で実践する上での知識、技術を身に付けることができました。」などの感想が寄せられ、多くの受講者が教職に対する情熱・使命感を高めた様子が見られました。

3月4日（土）の最終日には、「明日のとちぎの教育を担う第7期生へ」と題した講話を行い、当センター所長から、教員にとって大切な資質や教職の魅力について触れた上で、「教師になるということは、教師という生き方を選ぶということ」との話がありました。

今年度の研修の様子は以下の Web サイトから御覧いただけます。今後とも「とちぎの教育未来塾」をよろしくお願いたします。



最終日の所長講話



最後に全員で記念撮影をしました

→Click! <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/01kenshu/juku/index.html>



【問合せ先】研修部（Tel 028-665-7202）

②幼小連携推進者養成研修～今年度から新規スタート！～

この研修は、学校や地域、市町等における幼小連携を積極的に推進する人材育成のためにスタートしました。平成32年度までの5か年計画です。

受講者は、各市町教育委員会が選定した小学校教員20名、幼稚園・保育所等教職員20名、計40名です。全5日の日程で、全員で一緒に小学校1年生の授業を参観したり、幼稚園年長児の保育を参観したり、更には、お互いの職場で保育・授業体験をしたりしながら、相互理解を深めました。



1年生の授業参観



年長児の保育参観



ペアで話し合い



幼小連携川柳を作成

2月9日（木）に最終日が終了し、平成28年度の研修成果物として、「栃木県の幼児教育と小学校教育をつなぐジョイントカリキュラム」が完成しました。（3月中にホームページに掲載予定です。）

これからの栃木の幼小連携を担う40名の精鋭の大いなる活躍を期待しています。

※詳細は、今号に添付されている「幼教だより2月号」を御覧ください。

【問合せ先】幼児教育部（Tel 028-665-7215）

たくさんの御応募ありがとうございました

支えます

～第70回栃木県理科研究展覧会並びに発表会～

「第70回栃木県理科研究展覧会並びに発表会」の中央発表会及び表彰式を、2月16日（木）に栃木県総合教育センターで行いました。

中央発表会は、応募総数 80 点の中から 13 点が中央発表会審査会で発表され、そのうち7点が最優秀賞に輝きました。いずれの発表も趣向を凝らしたもののばかりで、研究のすばらしさをよく表現していました。

今回の中央発表会の研究の傾向として、身近なものへの疑問から始まり、調べていく過程で新たな疑問に気付き、追究を深めていった研究や、2年間以上の継続研究の中で、前回の研究で疑問に思ったことを解決するために、ポイントを絞って深く掘り下げた研究が見られました。また、例年よりも、表現力に優れた発表が多く見られました。

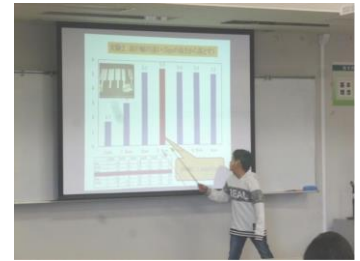
中央発表会の審査結果発表後、中央展覧会の最優秀賞 27 点と合わせて 34 点の受賞者に対し表彰式を実施しました。

なお、第 70 回栃木県理科研究展覧会並びに発表会の結果については、以下の Web サイトから閲覧することができます。

→Click! <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tenrankai/h28-rikakenkyu/tenrankai.htm>



【問合せ先】研修部（Tel 028-665-7202）



中央発表会（小学生の部）

「できたて」です！～冊子・パンフレット紹介～

広げます

今年度の調査研究の成果をまとめた冊子・パンフレットができました。今回は、その中から3点を紹介します。これから順次、発送するとともに、当センターWeb ページにも掲載します。是非、御活用ください。

①「小学校外国語活動 授業づくりガイド」

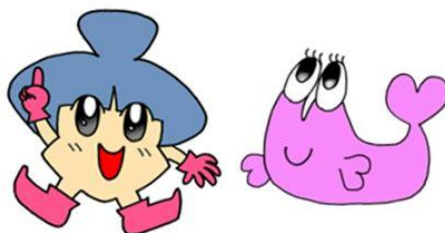
平成 32 年度から、小学校における外国語教育は、高学年で外国語科、中学年で外国語活動となります。それに向けて、各小学校には、現行の外国語活動の授業を全校体制でより充実させていくことが求められています。

本リーフレットでは、外国語活動の授業づくりの視点を「見通した指導」「モデル」「場面設定」とし、一つの単元及び1時間の授業を取り上げて、流れ等を示しています。外国語活動の指導に不安を感じている先生方に安心していただけるよう、外国語活動の授業づくりの基本的な考え方について、キャラクターであるアンとシンがお伝えしています。

本リーフレットは、4月に、県内の小学校の先生方全員のお手元に届きます。お手元に置いていただき、先生方の情報交換のきっかけとして、または外国語活動の授業づくりのヒントとして御活用ください。



外国語活動について一緒に語りましょう。



子どもたちと一緒に外国語活動を楽しみましょう。

→Click! http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/gaikokugokatsudo_h28/



②「学ぶ意欲を育むために」(小・中学校編)(高等学校編)

研究調査部では、本年度、「学習意欲に関する調査研究」を行いました。

小・中学生を対象とした調査研究では、とちぎっ子学習状況調査の「教科に関する調査結果の平均正答率」と「児童生徒質問紙調査から把握した学ぶ意欲」との相関を分析しました。その結果、例えば「より有能になりたい、より賢くなりたい」という欲求」が強い児童生徒や、「今よりも少し難しい問題に挑戦する行動」をする児童生徒ほど、平均正答率が高いことなどが分かりました。小・中学校編のパンフレットでは、この調査研究で明らかになったことを基に、授業を中心とした場面で、効果的に学ぶ意欲を育むための手立ての例を紹介しています。

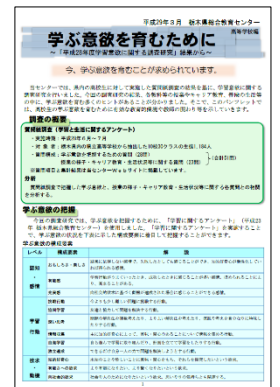
高校生を対象にした調査研究では、質問紙調査「学習と生活に関するアンケート」を実施し、学ぶ意欲と生活状況等との相関を分析しました。その結果、例えば「授業の最後に、その時間何が分かったか、何ができるようになったかを振り返っている」生徒や、「学校での学習を自分の将来と結びつけて考えている」生徒ほど、学ぶ意欲が高いことなどが分かりました。高等学校編のパンフレットでは、本調査研究で明らかになったことをもとに、「各教科等の授業の中で」「キャリア教育を通して」「普段の生活の中で」効果的に学ぶ意欲を育むための指導の工夫の例を紹介しています。

本パンフレットは、3月中に県内の小学校には小・中学校編が、中学校には小・中学校編と高等学校編が、高等学校には高等学校編が、特別支援学校には小・中学校編と高等学校編が届きます。本県児童生徒の学ぶ意欲の更なる向上に向けて、御活用ください。

→Click! http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/manabuiyoku_h28/



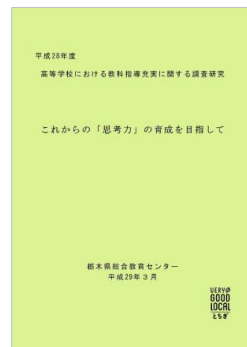
[小・中学校編]



[高等学校編]

③高等学校における教科指導充実

生徒一人一人の確かな学力を育むために、高等学校の教科指導における今日的な課題を解決するための指導実践事例を集めました。今年度は、これからの「思考力」の育成を目指して、言語活動の充実を図る取組や「思考のすべ」を使用して考えさせるための工夫などについて、数学科、外国語科(英語)、家庭科、農業科、工業科の五つの教科で紹介しています。各事例の概要については、教科別のパンフレット『高等学校における教科指導充実のために』で紹介しています。パンフレットは4月に県内の高等学校等に配布する予定ですので、授業づくりの参考として是非、御覧ください。また、各事例の詳細については冊子『これからの「思考力」の育成を目指して』に掲載しています。



→Click! http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/kyokasido_h28/



【①～③の資料の問合せ先】 研究調査部 (Tel 028-665-7204)

○この通信に関する御意見・御感想をお待ちしています。入力・送信は [こちら](#) から

・センターホームページ(TOP)は、[こちら](#) ・学びの杜通信のバックナンバーは、[こちら](#)